



学校だより No.6

— 8・9月号 — 2017(平成29)年8月25日
聖ウルスラ学院英智小・中学校

夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。ご家庭ごとそれぞれに充実した夏休みを送っていたことと存じます。昨年の夏はオリンピックで日本中が盛り上がりましたが、今年も世界陸上での日本選手の活躍や、高校野球での劇的な展開などで熱くなる場面がありました。

それとは反対に、記録的な長期雨天と夏とは思えない気温（宮城・仙台は特に低かった…）は大変残念でしたし、日照不足も心配です。梅雨のような天気が続き、校舎内の壁にカビなども発生しましたが、もちろん子どもたちが来る前には綺麗にしておりますので、ご安心下さい。特に1階はエントランスホールや廊下の壁はクロスが貼られ、床面にもWAXがかかりました。今後も綺麗に使っていきたいと考えております。

さて、夏休みが終わって一息…といきたいところですが、これから9月末にかけて、行事、宿泊学習、テストと忙しい時期になります。そして、はたと気づいてみれば前期の終わり。夏休みのまとめと同時に前期の締めくくりの時ですので、しっかりと指導していきたいと思います。ご家庭でもよろしく願いいたします。

《8・9月行事予定》

<p>[1st Stage]</p> <p>◆9月</p> <p>6日(水)4年学力テスト</p> <p>6～8日(水～金)3年宿泊学習</p> <p>9日(土)臨時休業日(ウルスラ EC のため)</p> <p>26日(火)3年校外学習 (給食あり)</p> <p>30日(土)PTA バザー</p>	<p>[2nd Stage]</p> <p>◆8月31日(木)うるすら☆ふえすた</p> <p>◆9月</p> <p>2日(土)7年中学総合学力調査(希望者)</p> <p>6・7日(水・木)5・6年前期末考査(給食あり)</p> <p>9日(土)臨時休業日(ウルスラ EC のため)</p> <p>13日(水)信幸会選挙</p> <p>14～16日(木～土)7年前期末考査</p> <p>20～22日(水～金)5・6年宿泊学習</p> <p>29日(金)7年美術館言語技術実習(午前)</p> <p>30日(土)PTA バザー・7年Z会模試(希望者)</p>
<p>[3rd Stage]</p> <p>◆8月31日(木)うるすら☆ふえすた</p> <p>◆9月2日(土)T1英智祭準備 3日(日)英智祭 4日(月)英智祭代休(T2は通常授業・弁当)</p> <p>9日(土)臨時休業日 13日(水)信幸会選挙 14～16日(木～土)前期末考査</p> <p>16日(土)第3回ケアンズ語学研修説明会 12:30(3号館講堂)</p> <p>28日(木)T1課題発見テスト 30日(土)PTA バザー</p>	

※10月2日(月)衣替え ※前期終業式は10月5日(木)、後期始業式は10月10日(火)

〈おしらせ〉

《夏休み 作品展の開催について》

今年も児童生徒が夏休み中に作成した作品を展示する「夏休み作品展」を開催いたします。1年生から7年生までの展示となっています。部門として、3・4年生は「絵画・工作部門」と「自由研究部門」、5年生以上は「理科自由研究部門」のみとなっています。

期間は**8月29日（火）から9月7日（木）**までです。各クラスの教室前に1年から7年生児童生徒が作成した作品がずらりと並びます。教室内にも展示されます。

保護者の皆様にも公開しておりますので、お時間があれば是非ご覧ください。尚、来校される場合は**放課後の時間帯(15:00以降)**にお越し下さい。お待ちしております。（セキュリティーパス（名札）を持参下さい）

《小中セカンド・サードステージ 「うるすら☆ふえすた」について》

「うるふえす」は今年で第4回を迎えますが、日程については毎年紆余曲折を重ねており、今年は8月末日ということになりました。7年生以上の生徒たちは本日から本格的にそれぞれの企画の準備に入っております。この行事は生徒主導で始まった伝統を受け継いで、まさに主体的に行われており、しかも着実に年々進化している行事です。今年もその意味から強化週間をもうけることになり、本日より30日まで7校時をこの行事のために生徒たちが準備する時間としております。保護者の皆様にもご理解いただき、応援していただきますようお願い申し上げます。

《小中サードステージ T1・高等学校 「英智祭」について》

9月3日（日）に「英智祭」が行われます。一般公開は9:30～15:00です。3rdステージ Type1は例年通り縦割りでクラブごとの参加ですが、Type2は不参加です。したがって、Type2は2日（土）、4日（月）ともに通常授業ですのでお間違いのないように願います。

《新グラウンド（名称「聖ウルスラ学院 南小泉総合グラウンド」）落成》

PTA総会にて保護者の皆様にご紹介しておりました新グラウンドの工事も順調に進み、おかげさまで**9月5日（火）**に「落成式」を行う運びとなりました。落成式には教職員の一部及び生徒代表の参加と来賓の方々をお招きし、感謝のうちに開催いたします。第一部は完成グラウンドの祝別式を、第二部はこけら落としとしてグラウンド競技開きを行います。競技開きでは高校ソフトテニス部、およびサッカー部の試合を行います。

今後の小・中学校の行事でも使用する予定となっておりますのでお知りおき下さい。

《PTAバザーについて》

毎年恒例の**一本杉キャンパス小・中・高一体** PTAバザーです。今週配布された「PTAだより バザー特別号」に詳細がありますので、よくご覧ください。

日時 **9月30日（土）10時から14時まで** ※スクールバスは朝のみの運行

授業等 ファースト 10:15 終了 セカンド 11:20 まで授業（通常通り）

サード Type1 12:30 まで授業 / Type2 11:20 まで授業

ほめたたえ

- ☆男子バドミントン部 東北大会 団体 第3位
個人ダブルス 第3位 安保・大久保組
- ☆女子バドミントン部 東北大会 団体 第3位

佐賀で行われている全国中学校体育大会バドミントン競技の速報も入りました。

- ☆男子バドミントン部 全国大会 団体 第3位
個人ダブルス ベスト8 安保・大久保組
- ☆女子バドミントン部 全国大会 団体 第3位

<4年生学力テスト・5～9年前期末考査 日程>

9月6日(水)

	4年	5年	6年
1	国語	理科	理科
2	社会	国語	国語
3	理科	算数	算数
4	算数	自学	自学

この後、4年生は通常通り(給食あり) 5・6年は給食の後自力下校です。

9月7日(木)

	5年	6年
1	社会	社会
2	英語	(通常)

4年生は終日通常授業。5・6年は3・4校時通常授業で給食の後自力下校です。

9月14日(木)

	7年	8年(Ty2)	9年(Ty2)
1	社会	保体	理科
2	保体	国語	技家
3	数学	理科	英語

9月15日(金)

	7年	8年(Ty2)	9年(Ty2)
1	音楽	社会	保体
2	技家	音楽	国語
3	英語	数学	書道(30分)

9月16日(土)

	7年	8年(Ty2)	9年(Ty2)
1	理科	技家	社会
2	国語	英語	数学
3	美術	H R	H R

※Ty1については別に出されますが、実技科目はTy2の同学年と同日程になります。

《聖書のことば》 7月（その2）

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」

（コリント人への第2の手紙 4章18節）

ちょっと勉強してみた。

疑問1 手紙？

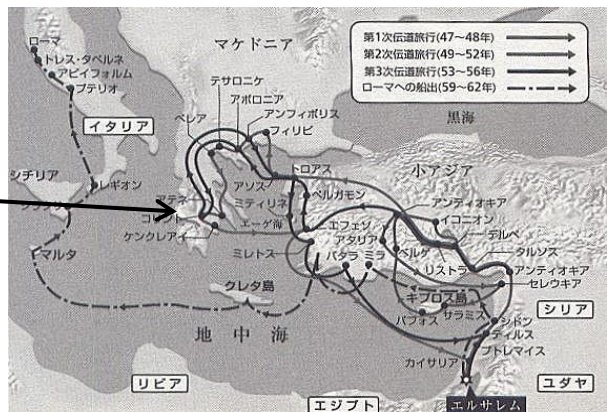
新約聖書にあるこの書簡は、聖パウロによって書かれたもの。新約聖書は簡単にいうとキリスト教の教えの基準であり、イエス・キリストが生まれた後の「神と人間との契約」について記されたものである。その中身はイエスの弟子たちが書いた文書や書簡、つまり手紙で、そのうち聖パウロが書いた書簡は新約聖書全27巻のうちの実に13巻にのぼり、約半分ということになる。

まずパウロについてであるが、筆頭弟子のペテロと並び称されるパウロは、いわゆる12使徒ではない。パウロは初めキリスト教を敵視していた。しかしある劇的な体験（「目から鱗が落ちる」のことわざの由来として有名）がきっかけで回心し、熱心なキリスト教徒となって伝道を行った。この伝道の旅が、キリスト教が世界へ広まる最初のきっかけであるという点で、パウロの功績は非常に大きい。

疑問2 コリント？

コリントはもちろん地名である。ギリシャにあるコリントは現在コリントスという名前になっているが、3度行われたパウロの伝道旅行の第2回目の旅で訪れた町の一つである。

この3度の伝道旅行の後、エルサレムに赴いたパウロは捕縛され、裁判のためにローマへと船出し、このローマで生涯を閉じたと言われている。



疑問3 何が書いてある？

パウロがコリントを去ってしばらく経つと、コリントの教会では信仰の立場や人間関係における対立が生じた。そこでコリントの信徒たちに複数の手紙を書いた。「イエス・キリストこそが信仰の原点である。それ故信徒は、自らを誇ってはならない。人間は『土の器』にすぎない。だがイエス・キリストを神の子と信じる時、十字架に現された神の力が『土の器』を突き動かす」パウロはその力を「愛の働き」と言い表し、「どんな立派な行為をしても、そこに愛がなければ無に等しい。愛こそ人を謙虚にし、信仰に導き、希望を抱かせる。知識はいずれすたれるが、永続するのは信仰と希望と愛である。」

いろいろな解釈が可能かと思うが、目に見える人間（の行い）は弱く脆（もろ）く壊れやすい「土の器」である。しかし、実はその中に目に見えない「宝」としての愛があるのだ。

本校の目標にあるキリスト教的人間観とはまさにこのことなのかも知れない。

教頭 鹿野紀幸